アート思考による
脱炭素ビジネスアイデア創出
ワークショップ
～脱炭素を自分事化する～

概要

脱炭素は世界規模の共通の使命ですが、「世の中がそう動いているから合わせている」といった受動的な姿勢に留まるケースも少なくありません。本ワークショップでは、常識にとらわれない自由な発想で価値を生み出す「アート思考」を活用し、脱炭素を自分事化することをテーマにワークショップを行います。
「アート思考は概念として理解できても、実際のビジネス現場でどう活かせばいいか分からない」という課題に応え、ビジネスに向けたアイデア創出を体感していただきます。

ポイント

◆ アート思考×脱炭素をテーマに、ビジネスアイデアを創出するヒントを考えます。

開催日　**2026年12月2日(水)　13:00～16:30**
ワークショップ終了後、希望者はロボリンク施設見学(ロボリンク閉館時間17時45分)

対象　神奈川県に本社、事業所、支店のある企業、団体で業種不問
(脱炭素に関心のある企業、団体など)
企画部門、技術部門、研究開発部門、マーケティング部門の実務ご担当者様

申込方法　以下のURLからお申し込みください。
https://www.jmac.co.jp/news/detail/info20261001.html

定員　15名(申込多数の場合は抽選)
※本ワークショップ参加者への営業活動はご遠慮ください。

会場　藤沢 ロボリンク セミナールーム(会議室)

主催:神奈川県　　事務局:日本能率協会コンサルティング(神奈川県委託先)
協力:公益財団法人湘南産業振興財団

締切　**2026年11月25日(水)17時まで**

ワークショップ概要

神奈川県の脱炭素の取組みはこちらから
「かながわ脱炭素ポータルサイト」

2026年12月2日(水) 13:00～16:30

12:30開場

はじめに 参加者自己紹介
アート思考とは(講義)
ワーク①アート作品の対話型鑑賞(個人)
ワーク②脱炭素ビジネスの対話型鑑賞(グループ)
アート思考をビジネスにつなげるには(講義)
休憩
ワーク③アート作品の対話型鑑賞(グループ)
ワーク④2050年に脱炭素という言葉がなくなったら(グループ)
発表
神奈川県カーボンニュートラル研究開発プロジェクト推進事業について

ワークショップ終了後、ご希望の皆様を対象にロボリンクの施設見学を実施します。
見学のご希望につきましては、本ワークショップのお申し込み時に確認させていただきます。

ワークショップ講師
北 桂樹 氏
現代写真・現代アート研究者／アート思考ワークショップ・ファシリテーター
京都芸術大学大学院 芸術研究科 芸術専攻修了　博士(学術)

広告・映像制作のビジネス実務を経て研究の道へ。「ポスト・フォトグラフィ」をテーマに、デジタル・AI時代における写真というメディアの拡張と変容を研究する。京都芸術大学、東京綜合写真専門学校で教鞭をとるほか、T3 PHOTO FESTIVAL TOKYOでは展覧会ディレクターを務める。企業向けには、現代アートの鑑賞と対話を入り口に「当たり前を問い直し、答えのない課題を自分ごとに変える」アート思考のワークショップを多数実施。新事業創出・人材育成の現場でアーティストの思考法を実践的に伝えている。

ワークショップコーディネータ
㈱日本能率協会コンサルティング　シニア・コンサルタント　池田 裕一
コンサルタント　村瀬 裕太

会場

藤沢 ロボリンク セミナールーム(会議室)

ロボリンクは神奈川県藤沢市にある
神奈川県ロボット交流拠点です。

ロボリンク　施設HP

神奈川県藤沢市藤沢559 角若松ビル 6階
JR東海道線・小田急江ノ島線・江ノ電藤沢駅北口徒歩2分

お問い合わせ先 (神奈川県委託先)
株式会社日本能率協会コンサルティング　R&Dコンサルティング事業本部　担当:野田・池田・村瀬
E-mail : social@jmac.co.jp TEL:080-3258-0696